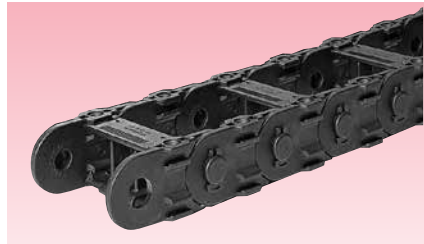
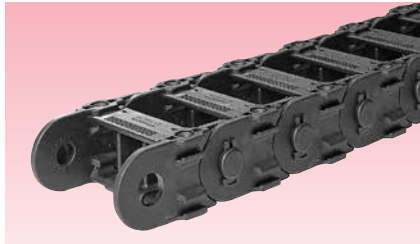


TYPE PKK

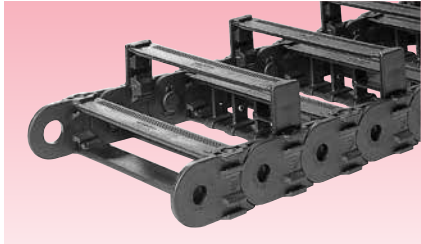
プラスチック製組合せ形パワーゴジラ



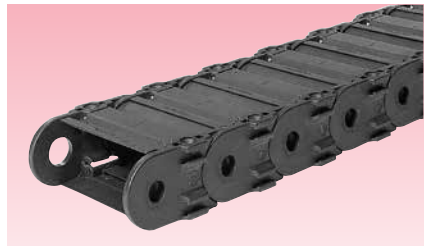
PKK ※※0



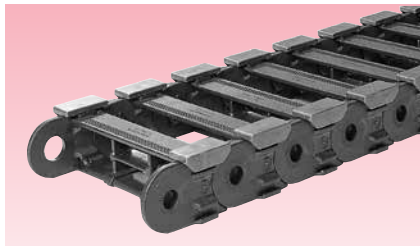
PKK ※※1



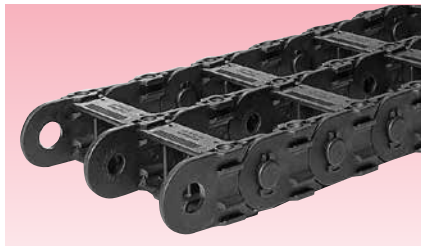
PKK ※※3



PKK ※※5



PKK ※※8

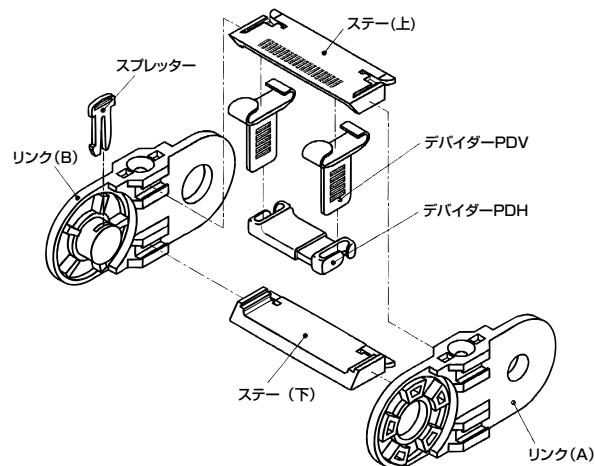


2連の使用例

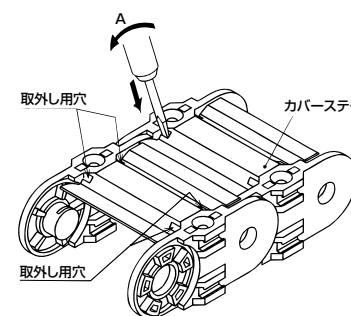
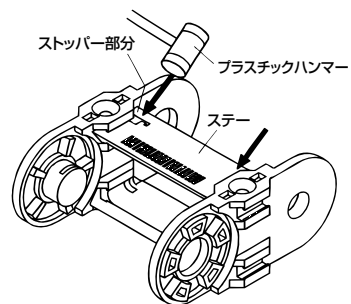
軽量汎用標準タイプ

特長

- 移動速度が速く、移動距離が長い場所に最適なケーブル・ホースガイド
- 専用の取付金具が不要。
- 3次元に増設が可能。
- リンクとリンクをスプレッターで継いだものを2列(リンクA列とリンクB列)作り、ステー上とステー下を差し込んで箱状のガイドを作り、デバイダーPDVをステー上に取り付け、デバイダーPDHをデバイダーPDVに取り付けた構造です。リンクAとリンクB及びステー上とステー下は、それぞれ同一の部品です。PDV,PDHはオプションです。
- ステーの取付け間隔の違い、補助ステーの追加組付け、ステーとカバーステーの組替え、スライダーの追加組付け等により※※0タイプ、※※1タイプ、※※3タイプ、※※5タイプ及び※※8タイプの5タイプのバリエーションのパワーゴジラとなります。
- ※20,※30タイプ等の※印は数字の1、2、3及び5で、パワーゴジラのサイズ(外側高さ)を表示しています。1=25mm、2=50mm、3=75mm、5=108mmを意味しています。
- 標準のリンクは※2※です。リンクを厚くし、強度をアップしたタイプを※3※として追加しました。(PKK53※のみ)
- ケーブル・ホースをセクションニング(分割・整理)するためにデバイダーPDV及びPDHがステーに取り付けられます。デバイダーの取付けは、予めステー上(※※5タイプは、カバーステー)にPDV及びPDHを取付け、それをリンクに組付けて下さい。
- パワーゴジラの短縮は、リンクのボスに差し込んであるスプレッターを取外せばリンクとリンクが離れ、簡単に短縮できます。
- 各タイプ共にパワーゴジラの側面にもう1個以上のパワーゴジラを継ぎ、2連以上にして使用することもできます。
- ケーブル・ホースの増設は、長いステーに交換、補助ステーの追加(PKK※※3)又は2連以上にリンクを連結することにより可能です。
- ケーブル・ホースの装着は、パワーゴジラの曲げの内側・外側のどちらからでもできます。
- 移動距離が長い場合は、ガイドチャンネルをご使用下さい。
- パワーゴジラの末端でケーブルのクランプが必要な場合は、241頁のケーブル・ホース用クランプパーツをご使用下さい。
- パワーゴジラの機器への取付けは、パワーゴジラのリンクの中央に設けている穴(M4、M6、M8ボルト用)を使用して皿ボルト(PKK5※※は六角穴付きボルト)で固定して下さい。取付金具が特別に必要なないのでその分だけ施工が簡単で安価となります。



ステータ取外し方法



ステーのストップパー部を図のようにプラスチックハンマーで斜め方向から叩くことでストップパー部が下がりながらステーが外れます。ストップパー部を叩く時は破損しない程度の力で叩いて下さい。

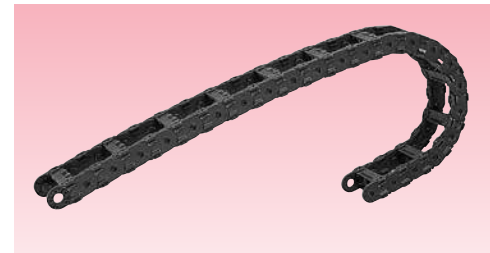
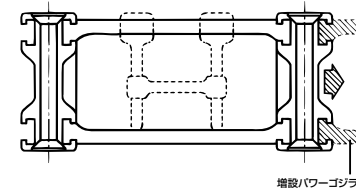
○ドライバーを取外し用穴(4箇所)に差し込み矢印A方向に倒すとストップパーがはずれカバーステーが上側にはずれます。

TYPE PKK

PKK ※※0(120/220/320/530)

- ステーを2リンク毎の上下に組付けたもので、Type PKKの基本タイプです。
- パワーゴジラの側面にもう1個以上のパワーゴジラを継ぎ、連結型にして使用できます。

※詳細は、ホームページ【技術資料情報】項目パワーゴジラ「PKK 取扱要領書 2」をご参照下さい。

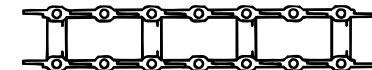


PKK ※※1(121/221/321/531)

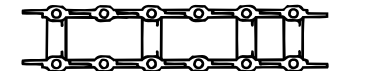
- 基本的にはType PKK※※0と同じですがType PKK※※0は、ステーを2リンク毎に取り付けたものに対し、Type PKK※※1は、ステーを各リンク毎に組付けたものです。

※詳細は、ホームページ【技術資料情報】項目パワーゴジラ「PKK 取扱要領書 2」をご参照下さい。

PKK※※0(奇数リンク)



PKK※※0(偶数リンク)

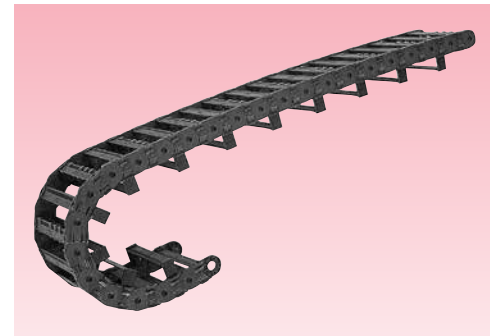
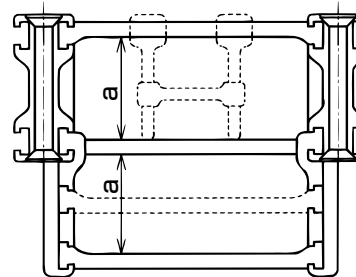


PKK※※1



PKK ※※3(123/223/323)

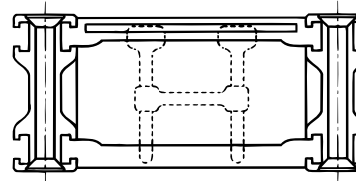
- Type PKK※※1の曲げの内側に補助ステーを2リンク毎に組付けたものです。又、曲げの外側に補助ステーを取付けることも可能です。
- この補助ステーの中にもケーブル・ホースを装着しますが、パワーゴジラの移動速度が遅い場合のみこのタイプが使用できます。



PKK ※※5(125/225/325/535)

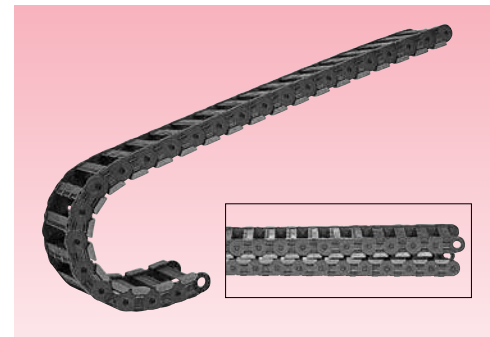
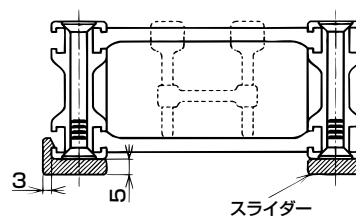
- Type PKK※※1のステーの代りにカバーステーを組付けて密閉型にしたものです。
- 溶接のビード、ほこり等からケーブル・ホースを保護する場合にご使用下さい。

※詳細は、ホームページ【技術資料情報】項目パワーゴジラ「PKK※5 型 取扱要領書 2」をご参照下さい。



PKK ※※8(128/228/328)

- Type PKK※※1の曲げの内側にスライダーを組付けたものです。(スライド走行専用)
- 移動距離が長く、スライド走行する場合で、ストロークの回数が多く、移動速度が1m/秒以上の場合は、スライダーを取付け、スライダーとスライダーを滑らせます。
- 連結型(パワーゴジラを2連継げたもの)の場合は、真中のリンクにはスライダーを取付けず両サイドのリンクのみにスライダーを組付けます。
- 移動端及び固定端のリンクにはスライダーは取付けられません。
- 通常の良好な使用環境では標準タイプのスライダとなりますが、通常タイプより摩擦しにくい特殊スライダーもあります(228,328のみ)。型式PKK228N,328Nとご指定下さい。



※詳細は、ホームページ【技術資料情報】項目パワーゴジラ「PKK※28 組立・解体要領書」をご参照下さい。